

## 成長につながる行動を身に付けるために～周りの人に学ぶ～

校長 只木 雅実

(11 月全校朝会の講話より)

10 月 26 日に文化芸術事業合唱指導のため来校された、音楽家の平井李枝先生にインタビューしました。ピアノ、ソプラノ、音楽博士であり、自分の夢を実現した平井先生のお話から、皆さんに学んでほしいと考えたからです。以下は、質問に対する回答です。

○いつ音楽家を目指しましたか？また、中学生の時の夢は？

「幼稚園の頃には、音楽家を目指しました。自分も当然、家族と同じ音楽家になると思っていました。中学生の時の夢はピアニストになること。家族からは、『子どもの頃に、楽器の中でも上手になるのに時間がかかるピアノの技能をしっかりと身につければ音楽家になれる』と勧められてピアノを始めました。」



○中学生の時、挑戦し、成長できたと実感したエピソードを教えてください。

「高校入試の課題として、演奏時間が 1 時間以上かかるピアノプログラム曲を弾きこなすことに挑戦しました。その課題のために 1 日 6 時間ピアノを弾きました。腕が疲れた時は 15 分間の休憩時間をとり、その合間で書道をして気分転換をしました。」

○夢をかなえるために 1 番必要なことは？

「夢は、見るものではなく、かなえるためのもの。だから『こうなりたい』と宣言する必要があります。人は心の中で思っても誰かに言わないとなかなか動き出せないものです。そして、夢をかなえるためには、自分で調べることは大切なことです。」

平井先生のお話も踏まえ、「成長につながる考え方や行動」には、次のようなものがあることが分かります。

- 自分の考えを積極的に発信することを大切にします。先生は、夢をかなえるためには「こうなりたい」と宣言する必要があると述べています。
- 自分に自信をもち、自分にも相手にも前向きな言葉をかけます。幼稚園の頃から「自分も当然、家族と同じ音楽家になる」という自信をもっていました。
- 自分や周りの人のために、まずやってみるという意識で、すぐに行動します。夢をかなえるための方法を自分で調べるのが大切と述べていました。
- リラックスできる方法をもち、切り替えを大切にして、自分らしく行動します。高校受験では、1 日 6 時間のピアノの練習の合間に書道を行い、気分転換をしていました。

平井先生は、中学生の時にはすでに、周りの人の意見を取り入れながら「成長につながる考え方や行動」を身に付けていたことが分かります。そして、ここには、きっと皆さんが夢や目標をかなえるためのヒントがあります。

大きな学校行事が終わり、3 年生は進路決定の時期が近づいてきます。行事では、「岩中最高」という思い出を作りましょう。そして、成長や成果を確認できるよう、時間を自分で作り出し、今この時を大切にして、成長にむけた挑戦を積み重ねてほしいと思います。

# 11/3 いわふね合唱祭・岩船小学校創立150周年式典

村上市民ふれあいセンターで、岩船小学校・岩船中学校合同による「いわふね合唱祭」を行いました。今年は、合唱祭の前に岩船小学校創立150周年記念式典が開催され、卒業生である中学生も一緒に参加しました。歴史と伝統を振り返る大変貴重な機会となりました。



1年生は、「地球星歌～笑顔のために～」を歌いました。歌詞のように、大切な人や風景のイメージが広がる素敵な歌声でした。

2年生は、「YELL」を歌いました。当日、欠席した生徒が多くいましたが、練習の成果を発表したいという強い思いが伝わってくる合唱でした。出会いや別れによって成長を続ける中学生の姿をイメージすることができました。



3年生は、「手紙～拝啓 十五の君へ～」を歌いました。どんなときも自分や仲間を信じ続けて大切に歌おうとする生徒の姿が印象に残りました。



中学校全校合唱は、全校生徒と教職員で「明日はきっといい日になる」を歌いました。「岩中最高」の気持ちをみんなで共有することができました。



小学生は、1・2年生、3・4年生、5・6年生が各2曲ずつを発表しました。元気で伸びのある歌声と、ハーモニーが広がる合唱を聞かせてくれました。

最後に全体合唱として、平井李枝先生が作詞・作曲の「岩船たからうた」を歌いました。会場にいる皆さんで、ふるさと岩船への思いを込めて歌声を響かせました。児童生徒が、今の自分たちができるより良い合唱を届けようと真剣に合唱に取り組んでいました。会場の保護者・地域の皆様に、子どもたちの思いが届いたのでないかと思います。ご来場いただき、ありがとうございました。

# 11/17 岩船中学校区いじめ見逃しゼロスクール集会

岩船小学校5・6年生を迎えて、岩船中学校区いじめ見逃しゼロスクール集会を行いました。小・中学校の児童、生徒でグループを作り、はじめにアイスブレイクで自己紹介をしました。その後、小学校の取組紹介では、小学校が制作した動画から、意見交換しました。

次に、中学校の生徒会執行部と学年委員会が制作した日常生活にある3つの場面の動画を視聴した後、自分の意見をまとめ、グループ内で意見交換しました。

いじめは、誰にでも起こりうるものです。そして、私たちは、いじめの被害者にも、加害者にもなる可能性があります。いじめが起きないようにするためには、学年、学校、岩船地域の人々でいじめを防止することが1番です。いじめ防止に向けて、一人一人のいじめに対する認識や感覚を磨くために、今日のようなみんながいじめについて考え、自分の意見を伝えて、深く学習する場が必要です。

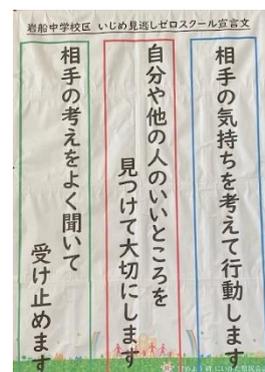
この集会から、生徒は日々の生活の中に今までに気付かなかった、いじめにつながる危険があることに気付くことができました。そして、いじめに気付いたときには、自分や周りの人を守るための行動を考え、学校生活で実践できる強い意志と勇気がもてるように、自分のこれからの行動について進んで意見を出していました。



学年縦割り12班に分かれ、アイスブレイキング。自分についての話題を2つ紹介しました。



小学校での取組をもとに意見交換しました。



中学校の生徒会執行部と学年委員会制作のいじめの場面を演じた動画を視聴しました。



視聴した後は、円卓型の用紙使って、テーマについて意見交換を行いました。



生徒会執行部が「いじめ見逃しゼロスクール宣言文」を確認しました。最後に、各学年の代表が感想を発表しました。

## 【岩船中学校区「いじめ見逃しゼロスクール宣言文」】

- ① 相手の気持ちを考えて行動します。
- ② 自分や他の人のいいところを見つけて大切にします。
- ③ 相手の考えをよく聞いて受け止めます。

### 【生徒の振り返りから】

- ・相手が嫌だと思ふことはいじめです。自分は平気かもしれないけれど、別の人は嫌だと思ふかもしれません。いじめは絶対してはいけません。見て見ぬふりはしないようにします。(1年生)
- ・いじめはしないように意識して生活しようと思いました。また、傍観者の立場になってその場で「これはいじめだ」とすぐに言えなくても、先生に言うなど小さいことでも行動して、いじめに加わることがないようにしたいと思いました。(2年生)
- ・とても些細なことでもいじめと感じる人がいるし、自分はしていないと思ってもいじめている場合があるので怖いと思いました。これからはいじめをしない、させない、見逃さないように気をつけていきたいです。(3年生)

## 岩船の旬の魚介類を味わいました

### 【全校生徒 … 11/7に「旬の食材給食」】

村上市農林水産課と岩船漁業協同組合の皆様のお力添えにより、ズワイガニ、アンコウ汁などをいただきました。岩船産ズワイガニ、岩船産あんこう汁、岩船産まだらの竜田揚げ、海の幸いかとえびのサラダと、魚づくしのスペシャル献立です。茹でたカニの食べ方の説明を受けながら、カニ用のはさみとスプーンを使って、試食しました。

生徒が岩船の旬の魚介類のおいしさを実感できる素晴らしい機会となりました。ランチルームのあちこちで「おいしい」という声が聞こえてきました。

このような地元の旬の食材をいただける岩船中学校の生徒は、本当に幸せです。

また、この様子は、テレビ局、新聞社など多くの報道関係の方々に取り上げられました。



### 【2年生 … 11/14に「魚の調理教室」】

講師として、新潟県魚食普及の会、岩船漁業協同組合の皆様をお招きしました。アジのさばき方を教えていただき、三枚におろしました。初めての生徒ばかりでしたが、講師の皆様のアドバイスで、上手に包丁を扱うことができました。アジフライと、鮭をつかったつみれ汁を作りました。

生徒自身で地場の魚介類を調理し、そのおいしさを味わう素晴らしい機会となりました。ご指導いただきました講師の皆様ありがとうございました。



## 12月の主な予定

- 12/1(金) 全校朝会、イワカツ！発表会
- 2(土) 数学検定
- 4(月)～8(金) 人権教育強調週間
- 6(水) 薬物乱用防止教室
- 8(金) 人権教育、同和教育授業公開(4限)
- 11(月) 生徒会役員選挙
- 12/13(水)～15(金) 期末保護者会

- 13(水) 全校スポーツ大会(5限)
- 14(木) スクールカウンセラー勤務日(PM)
- 18(金) 生徒会朝会(任命式)、生徒会専門委員会
- 22(金) 2学期終業式、離任式、2学期給食最終日
- ※12/28(木)～1/3(水) 諸活動停止

